

令和3年6月10日
第1回 男女共同参画推進委員会

第2次いといがわ男女共同参画 プラン事業の進捗について

(資料No. 1、2)

I 女性の活躍推進

基本的な方向	指標名	単位	H27年度 現状値	H28年度 現状値	H29年度 現状値	H30年度 現状値	R1年度 現状値	R2年度 現状値	R3年度 目標値	新潟県
(1) 働き方改革	「男性は仕事、女性は家庭を中心とする方がよい」の回答が「そう思わない」の割合	%	56.9					55.5	70.0	52.5 (R1男性)
	家庭における家事等の分担についての回答が「両方同じくらい」の割合	%	18.3					10.6	25.0	
	(市役所) 時間外勤務の年平均時間	時間	105.7 (H26)	154.3	150.2	127.9	136.6	125	100 (H32)	

- ・「男性は仕事、女性は家庭を中心とする方がよい」の回答が「そう思わない」の割合は、平成27年度現状値（56.9%）から、1.4ポイント低下の55.5%と目標値にも14.5ポイント達成できませんでした。
- ・家庭における家事等の分担についての回答が「両方同じくらい」の割合は、平成27年度現状値（18.3%）から、7.7ポイント低下の10.6%と目標値にも14.4ポイント達成できませんでした。

I 女性の活躍推進

基本的な方向		指標名	単位	H27年度 現状値	H28年度 現状値	H29年度 現状値	H30年度 現状値	R1年度 現状値	R2年度 現状値	R3年度 目標値	新潟県
(2)	政策・方針決定過程への女性の参画拡大	各種審議会等における女性委員の割合	%	26.9	27.2	27.1	25.8	25.0	25.2	40.0	36.4 (R2)
		(市役所)管理職クラスにある職員に占める女性の割合	%	2.3 (H18~27)	3.2	3.1	3.4	3.8	4.2	10 (H32)	19.2 (R2)

・「各種審議会委員等における女性委員の割合」では、平成28年度に増加しましたが、その後は減少傾向となり、25.2%と目標値には14.8ポイント達成できませんでした。理由は、団体構成員に女性が少ないなどの原因により女性の登用が進まないことによるものです。

また、県は36.4%となっており、当市の25.2%と比較すると11.2%の差があります。

・「市役所管理職クラスにある職員に占める女性の割合」は、増加傾向ではありますが、目標値の半数にも満たない状況となっています。県は19.2%と、当市の4.2%と比較すると15%の差となっています。

I 女性の活躍推進

基本的な方向	指標名	単位	H27年度 現状値	H28年度 現状値	H29年度 現状値	H30年度 現状値	R1年度 現状値	R2年度 現状値	R3年度 目標値	新潟県
(3) 雇用等における男女共同参画の推進とワーク・ライフ・バランス	職場における男女格差について、「特に男女格差はない」の回答割合	%	23.3					20.9	50.0	22.1 (R1)
	「ワーク・ライフ・バランス」の名称、内容を知っている人の割合	%	12.1					19.1	30.0	19.4 (R1) 市：33.5

- ・ 職場における男女格差について、「特に男女格差はない」の回答割合は、平成27年度現状値（23.3%）から2.4ポイント低下の20.9%と目標値にも29.1ポイント達成できませんでした。
- ・ 「ワーク・ライフ・バランス」の名称、内容を知っている人の割合は、平成27年度現状値（12.1%）から7ポイント増加の19.1%ですが、依然として認知度は低い状況です。

I 女性の活躍推進

基本的な方向	指標名	単位	H27年度 現状値	H28年度 現状値	H29年度 現状値	H30年度 現状値	R1年度 現状値	R2年度 現状値	R3年度 目標値	新潟県
(4) 社会活動・さまざまな分野への男女共同参画の推進	男女平等意識について 地域社会の中で（町内会等の活動の中で）、「平等になっている」と回答する人の割合	%	31.1					22.4	40.0	31.3 (R1)

・ 男女平等意識について、地域社会の中で（町内会等の活動の中で）、「平等になっている」と回答する人の割合は、平成27年度現状値（31.1%）から8.7ポイント低下の22.4%と目標値にも17.6ポイント達成できませんでした。

Ⅱ 安全・安心な暮らしの実現

基本的な方向		指標名	単位	H27年度 現状値	H28年度 現状値	H29年度 現状値	H30年度 現状値	R1年度 現状値	R2年度 現状値	R3年度 目標値	新潟県
(1)	生涯を通じた男女の健康支援	女性の健康寿命	歳	86.05 (H22)					83.7	延伸 (H35)	75.44 (H28)
		平均自立期間（平均余命-不健康な期間（要介護2以上））		83.7	83.4	83.7	83.7	83.7			
		男性の健康寿命	歳	78.92 (H22)					79.4		
		平均自立期間（平均余命-不健康な期間（要介護2以上））		78.9	79.8	79.7	79.1	79.4			
		乳がん検診受診率（40～69歳）	%	29.6	30.5	30.0	30.6	30.1	26.1		増加 (H35)

- ・「女性、男性の健康寿命」では、数値の考え方が「日常生活動作が自立している期間の平均」に変更になったため、2段書の記載とさせていただきます。女性は同率ですが、男性は、0.5歳延びています。
- ・「乳がん検診受診率（40～69歳）」は、平成27年度現状値（29.6%）から3.5ポイント低下の26.1%と減少傾向です。

Ⅱ 安全・安心な暮らしの実現

基本的な方向		指標名	単位	H27年度 現状値	H28年度 現状値	H29年度 現状値	H30年度 現状値	R1年度 現状値	R2年度 現状値	R3年度 目標値	新潟県
(1)	生涯を通じた男女の健康支援	子宮頸がん検診受診率（20～69歳）	%	18.8	18.0	16.5	17.3	17.0	14.7	— (H35)	
		妊婦の喫煙率	%	3.1 (H26)	0.8	0.0	0.8	0.0	1.3	0 (H35)	

・「子宮頸がん検診受診率（20～69歳）」は平成27年度現状値（18.8%）から4.1ポイント低下の14.7%と減少傾向です。

乳がん検診・子宮がん検診ともに2年に1度の検診受診が推奨されていますが、6割が2年連続受診者であり、新規受診者が少ない傾向があります。

・「妊婦の喫煙率」について、平成27年度現状値（3.1%）から1.3%と減少していますが、目標値としては達成できませんでした。

Ⅱ 安全・安心な暮らしの実現

基本的な方向	指標名	単位	H27年度 現状値	H28年度 現状値	H29年度 現状値	H30年度 現状値	R1年度 現状値	R2年度 現状値	R3年度 目標値	新潟県
(2) 女性に対するあらゆる暴力の根絶	「DVをされたことがある」の回答割合	%	6.2					8.1	減少	37.2 (R1)
	「DVをしたことがある」の回答割合	%	2.5					1.5	減少	
	「女性のための相談室」を知らない人の割合	%	63.4					58.2	40.0	

・「DVをされたことがある」の回答割合は、平成27年度現状値（6.2%）から1.9ポイント増加の8.1%と目標の減少には至りませんでした。また、県の令和元年度値の37.2%と比較すると当市の値は低いように見えますが、県の平成30年度値が36.4%、令和元年度値が37.2%と0.8ポイントと増加傾向であることを考慮すると、被害を受けていると思わない、もしくは、訴えない傾向があると考えられます。

Ⅱ 安全・安心な暮らしの実現

基本的な方向	指標名	単位	H27年度 現状値	H28年度 現状値	H29年度 現状値	H30年度 現状値	R1年度 現状値	R2年度 現状値	R3年度 目標値	新潟県
(3) 貧困、高齢、障がい等により困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備	趣味や生きがいのある高齢者の割合	%	78.7		69.9		67.3	85.0 (H31)	85.0 (H31)	
	福祉施設から一般就労への移行人数	人	5	3	6	6	5	8 (H31)	8 (H31)	
	(再掲) 女性の健康寿命	歳	86.05 (H22)					1.3	延伸 (H35)	75.44 (H28)
	平均自立期間（平均余命-不健康な期間（要介護2以上））		83.7	83.4	83.7	83.7	83.7	83.7		
日本語セミナー受講者数	人	292	232	433	609	721	363	320 (H31)		

- ・「趣味や生きがいのある高齢者の割合」は、増加傾向となっています。
- ・「福祉施設から一般就労への移行人数」は、適正にあった職場への就労が可能となるよう訓練を行っており、平成27年度現状値（5人）から増加しましたが、一般企業の障害者就労への理解や就労後の支援が課題となっています。
- ・「日本語セミナー受講者数」は増加傾向にありますが、令和2年度はコロナの影響により減少しています。市内在住外国人の増加とともに、ベトナム等の技能実習生の日本語教育の需要が高まっています。

Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた 基盤の整備

基本的な方向	指標名	単位	H27年度 現状値	H28年度 現状値	H29年度 現状値	H30年度 現状値	R1年度 現状値	R2年度 現状値	R3年度 目標値	新潟県
(1) 男女共同参画の 視点に立った各種制度等の整備	子育て環境の満足度	%	39.3				52.4		60.0 (H31)	
(2) 教育等を通じた 意識改革、理解の促進	男女平等意識について 家庭生活で、「平等になっている」と回答する人の割合	%	34.9					23.2	37.0	38.5 (R1)
	男女平等意識について 学校教育の場で、「平等になっている」と回答する人の割合	%	62.7					59.4	75.0	57.2 (R1)

- ・「子育て環境の満足度」は、病児・病後児保育や休日お助け保育等の実施により、平成27年度現状値（39.3%）から13.1%増加の52.4%と目標に近い数値となっています。
- ・男女平等意識について、学校教育の場で、「平等になっている」と回答する人の割合は、平成27年度現状値（62.7%）に対し、3.3ポイント低下の59.4%と目標値にも15.6ポイント達成できませんでした。